



2010年寅年、記録的な猛暑日が続いた今年の夏、突然宮崎県を襲った口蹄疫、本県を震撼させた鳥インフルエンザ、野菜・魚（カボチャ、キャベツ、サンマ等）の高騰、例年を下回る米の品質・・・。

円高は戦後最高値（1ドル＝79円75銭）に迫る勢いで進行し、景気の回復は実感できず、高校生・大学生の就職は超氷河期を迎えるなど、明るい話題は少なく、気分的に暗く落ち込みそうな社会の状況でしたが、今、島根の公民館は元気です。県下全域47カ所・97館がモデル公民館に選定されています。西部圏域におきましては、今年度新たに8館がモデル公民館となり、それぞれの地域の課題解決に向け、また、夢プランが作成され、社会教育活動を通して人と人が結ばれ、協働による地域づくりが進められています。このことは、月刊誌「社会教育」11月号で、全国にも発信されています。

暮らし全般にわたり、閉塞感が漂い、先の見通しのもちにくい、今日だからこそ、住民参画により、人カパワーで、自分たちの住む地域を元気にしていきたいものです。その中核となるべく、地域住民から熱い視線と期待を注がれているのが、公民館です。



2011年卯年、各市町、各公民館、各地からゲゲゲ以上のうさぎパワーで活力を産み出していきたいものです。

研修報告 11、12月の研修の様子をお伝えします

専門研修 プログラム立案実践講座

1回目 11月2日 2回目 11月26日
 於：吉賀町 受講者9名

最初に「自分の地域をどのような町にしたいのか」をラベルに書き出して整理し、プログラムのテーマとなる部分を決めました。次にテーマごとに学習プログラムの作成を行いました。どちらのグループも自分たちの夢が盛り込まれた素敵なプログラムを作ることができました。



個別事業計画(学習プログラム)を立てよう

【チーム 年の功】

(1)事業名	生きがいを見つ
(2)事業の目的	生きがいを見つ
(3)対象者・定員	お
(4)期間・時間 ※回数は3回	① 春、秋…視察 ② ①の一
(5)学習場所	① 津和野
(6)学習目標	自分が何ができるか
(7)連携団体等	老人会、リサイクルプラザ

回	学習テーマ	学習内容と方法
1	活発な高齢者達の視察 ～そして自分たちも～	高齢者などが意欲的に行き先を決めてのふれあいを行地域を視察する。(だがしやなど)そこで、「自分達にも出来る意識を芽生えさせる。視察先の方に、活動の楽し点等を聞き意識向上を図る出店の参考とする。
2	自分達に出来ることを見つける	開店に向けて、自分達には出来るかを話し合う。ディスカ具体的なお店のビジョンを他の高齢者ががんばっている写真や動画などを見せる視察に参加できなかった方へは、参加を促す。

チーム「年の功」の学習プログラム

個別事業計画(学習プログラム)を立てよう

【つながりグループ】

(1)事業名	地域のお宝探し！！発見ウォーキング
(2)事業の目的	地域間の交流を通して、地区活性化のきっかけとする
(3)対象者・定員	60代以上対象・30人
(4)期間・時間 ※回数は3回	4回（第1回：4月・第2回：5月・第3回：6月・第4回：7月）
(5)学習場所	各地域(1～3回)・公民館(4月)
(6)学習目標	・他地域のことを知る ・地区の宝(よさ)を発見(再発見)する。
(7)連携団体等	婦人会、自治会、グラウンドゴルフクラブ、サークル、生産者

回	学習テーマ	学習内容と方法	講師・学習支援者	備考
1	〇〇地域のお宝探し	歩こう会(講義・観察) 最初にオリエンテーションを行い、事業の意図をしっかりと説明する。〇〇地域の文化財や自然、特産品について知ると共に、楽しみながらその地域の宝を見つける	地域の人 ふるさと案内人 公民館職員	・広報はサークル活動や他事業の際に積極的に行い、口コミで広げていくよう努める。
2	××地域のお宝探し	歩こう会(講義・観察) ××地域の文化財や自然、特産品について知ると共に、楽しみながらその地域の宝を見つける	地域の人 ふるさと案内人 公民館職員	・あらかじめ歩くルート(史跡や特産物の生産者宅等)は決め、調整しておく。
3	△△地域のお宝探し	歩こう会(講義・観察) △△地域の文化財や自然、特産品について知ると共に、楽しみながらその地域の宝を見つける	地域の人 ふるさと案内人 公民館職員	・カメラを数人に渡しておく。グラウンドゴルフクラブを通じて周知し、交流
4	各地域の発表、マップ作り	前回までに(見つけ)をグループで共有し、まとめとる。		

チーム「つながり」の学習プログラム

参加型学習の手法の「アイスブレイク」「三つのコーナー」「ランキング」の体験をしました。アイスブレイクでは笑顔があふれ、三つのコーナーでは皆の前で自分の考えを話し、ランキングではグループの人たちと未来の江津市について真剣に考えました。

講座の後「今度、出前講座があるので今日の手法を取り入れたいです。」という声が聞こえ、とてもうれしく思いました。



声

- ◆ 意見を一つにまとめるのは難しく物別れに終わる会議が多いですが、参加者が一つの思いに向かわせる手段として、アイスブレイク、ランキング等を活用すれば充実すると感じました。
- ◆ 今度、自分が出前講座に出かける予定があるので取り入れたいです。
- ◆ 重苦しい雰囲気がなく、前向きな気持ちでいろいろなことが考えられたのが良かったです。
- ◆ 参加型学習は、受講者に考えさせる時間をとることで理解が深まり、主体となって取り組もうという意識が生まれることが今日の体験を通して強く感じました。

市町のひろば

川本町子育てサポートセンター

川本町では、子どもたちと、かかわる人々をつなぐ子育て支援・子ども支援の拠点施設「川本町子育てサポートセンター」を開設しています。

すこやかセンターかわもとを拠点とし、0歳児から18歳までの子どもと保護者、子どもの活動支援者を対象とした様々な事業を開催しています。

相談受付

保護者や支援者等からの、子育てや発達等に関する相談窓口として、一緒に考えたり、専門機関等を紹介したりする。

学習支援

「子どもの活動支援ボランティアバンク」を拡充・活用し、子どもと地域・学校をつなぎ、ふるさと教育を推進する。

オープンスペースとして

在宅児家庭の親子の遊び場、小学生や中高生の居場所、地域ボランティア活動の拠点として、施設内スペースを開放する。

体験活動開催

ふるさとの自然・伝統文化・スポーツ・食育・学習など、子どもたちが楽しみながら学べる活動や、地域の「ひと・こと・もの」とふれあう体験活動を実施する。

「地域で子育て」の環境作り

地域での子育て支援や、子どもの活動支援の体制作りのための活動や、子育て中の方・PTA・支援者等を対象とした研修会を実施する。

情報提供

子どもや子育てに関する情報提供や、情報誌発行を行う。